

大阪教区各組重点プロジェクト一覧

実践目標：〈^{ひんこん}貧困の^{こくふく}克服に向けて ～ ^むDāna for World Peace ～〉
 ー ^{はぐく}子どもたちを育ために ー

推進期間：2024(令和6)年度～2027(令和9)年度

	組 名	達 成 目 標
1	天 野 南	貧困の克服を含め、社会問題に対しても、共に取り組んでゆける門徒推進員を養成するために、門徒推進員養成連続研修会を開催する ＜実践目標②：人生儀礼にかかる学習会の実施＞
2	天 野 北	「おてらおやつクラブ」の活動に参画しつつ、組内地域の団体と連携をはかり、貧困の克服に向けた活動を継続する ＜実践目標②：魅力ある寺院をめざして＞ 近年増加している、外国人家族も含め、魅力ある寺院として、多様な活動を広く実践していく
3	石 川 南	①引き続き、地域で開設されている子ども食堂や児童福祉施設へ、米などの提供を行う ②支援と並行し、貧困の克服に向けた研修会を実施する
4	石 川 北	貧困克服に向けて活動している団体、組織等に対する後方支援の資金となるように、組内の行事を通して募金を集める
5	川 北	①現場から講師を招聘しての研修 ②おてらおやつクラブへの参加、支援
6	河 中 南	長期にわたる支援の継続と僧侶・門信徒が問題意識を共有する
7	河 中 北	①米一合運動をはじめ、子ども食堂や支援施設へ支援活動 ②子どもたちの笑顔のために募金活動への積極的な関わりや実施追求
8	茨 田	フードドライブの活用
9	讃 良	プルトップ・ペットボトルの蓋等の収集によって支援する

	組 名	達 成 目 標
10	交 野	貧困の現状についての学びを深め、ペットボトルキャップ収集を継続し、認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の活動に協力する
		<実践目標②：人生儀礼> ①組内寺院と地域それぞれの特色の学びを深め、寺院の活性化をめざしていく ②人生儀礼が持つ宗教性についての学びを深めていき、伝道活動へ実践していけるように考えていく
11	島 上 西	研修会等において募金活動を行い、貧困問題に取り組む団体へ寄付をする
		<実践目標②：魅力ある寺院をめざして> 「人生儀礼ハンドブック」に基づいて学びを深める
12	島 上 南	社会福祉事業を行う団体を通じた支援
		<実践目標②：人が集まる寺院をめざして> 今後の寺院活動に関する研修会の開催
13	島 上 北	誰もが安心して行ける居場所をつくる (話を聴く…という研修を通して、心の貧困をやわらげる)
		<実践目標②：魅力ある寺院をつくる> 若い世代にも、行きたい寺院の魅力について考える研修会を行う
14	島 中 南	子どもの貧困について認識をさらに深めるとともに、寺院として取り組むべき活動についての研修会を実施する
		<実践目標②：魅力ある開かれた寺院をめざして> コロナ後に変化した地域社会に根ざした寺院活動に関する研修会を実施する
15	茨 木 東	貧困問題に取り組んでいる団体との連携を深める 研修会・学習会の実施、報恩講等法要への参拝奨励
		<実践目標②：魅力ある寺院をめざして>
16	茨 木 西	①地域にある子ども食堂への支援 ②研修会・学習会の実施

	組 名	達 成 目 標
16	茨 木 西	<実践目標②：日常の寺院活動の充実> ①外部地域への研修会等の実施 ②人生儀礼にかかる学習会の実施 ③報恩講等各寺院法要への参拝奨励
17	島 下	①大阪西本願寺常照園への支援 ②里親募集支援 ③おてらおやつクラブ参加
18	豊 島 南	持続可能な支援システムの構築 <実践目標②：魅力ある寺院をめざして> 寺院活動の基盤づくりに関する研修会の開催
19	豊 島 北	①貧困の言葉を理解し、子どもたちにどう影響するのか考える ②市の専門分野の人を講師に招き、現状を聞き考える
20	大 島 南	貧困問題について学び、組各寺院の理解を深め、「何をどのようにできるか」を協議し実践へつなげる <実践目標②：組及び組各寺院の活動の活性化> 組独自の学習会・研修会（勤式練習会など）を開催し、組内寺院の交流をはかり、組各寺院の活動の活性を推進する
21	大 島 北	研修会等を開催し、貧困問題について学び、理解を深め、具体的な活動内容を検討し、実践・推進する
22	三 郡	①貧困問題への取り組み事例や専門家の情報を収集し、組において共有する ②「貧困問題に取り組む」組学習会の開催 <実践目標②：人生儀礼> ①人生儀礼について有識者を招き、学習会を行い、その宗教的・社会的必要性を学ぶ ②人生儀礼の必要性を啓発する資料を作成する
23	南 郡	組仏婦と連携して子ども食堂への支援 <実践目標②：持続可能な寺院活動の基盤づくりに向けて> 各寺院による情報の共有

	組 名	達 成 目 標
24	日 根	持続可能な支援システムの構築（未来ある子どもたちに） 様々な事情から社会的に疎外されたり、生きづらさを感じている子どもたちに焦点を当て、子どもの居場所作り（子ども食堂支援・学習支援）を構築すると共に、社会的な孤立やネグレクト等から寺院として何ができるのかの研修会等の開催を実施していきたい
25	茅 淳	「貧困の克服に向けて」の研修会を引き続き実施する ＜実践目標②：魅力ある寺院をめざして＞ 「人生儀礼ハンドブック」に基づいた研修会を開催し、学びを深める
26	大 阪 東	・大阪東組地域内の子ども食堂及び学習支援施設3ヵ所に、半年に1度、組内で募った支援金を6万円ずつに分け、支援を続けていく ・法人の理事となり、その経営に携わっていく
27	大 阪 西	組内寺院が府下広範囲に点在する状況を踏まえ、実施可能な方法を模索する
28	大 阪 南	貧困問題に関連する研修会を開く ＜実践目標②：魅力ある寺院をめざして＞ 魅力ある寺院とは何かを考察する
29	大 阪 北	①「子どもたちの笑顔のために募金」の啓発活動の実施 ②大阪市の推進するフードドライブに全寺院が積極的に協力する
30	中 島 東	・子ども報恩講の実施 ・子ども食堂（パントリー）の実施
31	中 島 西	募金活動等を全寺院にて行う ＜実践目標②：魅力ある寺院をめざして＞ 持続可能な寺院活動の基礎づくりの実践 地域社会の中で寺院と共に活動をできるような場になれることをめざす
32	中 島	貧困についての知識と理解を深めるための研修会を開催する ＜実践目標②：人生儀礼＞ 念仏者にとって大切な人生儀礼の実践奨励
33	榎 並	地域で開設している子ども食堂を支援する
34	東 成	①貧困問題の現状を把握するために、改めて僧侶のみの研修会を開催し、学びを深める ②組の若院会・寺族婦人会と連携して、貧困問題と向き合う活動を模索する

	組 名	達 成 目 標
35	東 住 吉	・ 支援の必要性を周知徹底 ・ 組内で問題意識を浸透させる ・ 各人ができることを着実に実行する ・ 目標を抽象的なままで、とどめず、各人が具体的にやるべきことを明確にする
36	住 吉	研修会の開催を目指す、開催も含めて組内で協議をする ＜実践目標②：同朋運動の継続＞ 『差別・被差別からの解放』を課題に同朋運動の研修を継続する ①従来通り、「部落差別」「寺中差別」「教学・儀礼の問題」「性差別」「障害者差別」「ハンセン病差別」等をテーマにして研修会を実施する ②『講座同朋運動』（全五巻 明石書店）をテキストとする「住吉組連続課題別同朋研修会」（2022年12月27日組内会承認）を実施する
37	西 成	①子どものいのちの大切さを訴える啓発活動に掲示伝道と協力し取り組む ②地域の貧困支援既存活動組織や施設と協議会を設け、支援を図る ＜実践目標②：人生儀礼＞ 『人生儀礼ハンドブック』に基づいた研修会を開催する ＜実践目標③：掲示伝道＞ 法語ポスターを作成し、組内全寺院で掲示する
38	西 淀 川	子ども食堂等の支援のための、継続的な募金活動の実施 ＜実践目標②：魅力ある寺院を目指して＞ 寺院活性化のための、僧侶育成の研修会の開催
39	此 花	さまざまな貧困について研修会を継続する ＜実践目標②：魅力ある寺院を目指して＞ 仏前結婚式を社会的にアピールする
40	阿 倍 野	地域で開設している子ども食堂へ、食材などの提供（後方支援）を行う ＜実践目標②：寺院活動の基盤づくりに関する研修＞
41	臨 港	①広告ポスターの掲示、リーフレットを配布し、門信徒に広く貧困問題を認知していただく ②「子どもたちの笑顔のために募金」を支援するために、寺院本堂等に募金箱を設置・募金支援活動に参加する